



## RU11 シンポジウム『「知」の力による我が国の創造的復興と未来に向けて —今を乗り越え、明日を目指して— (第1回)』の開催について

### 概 要

平成23年6月11日(土)に、仙台にて、シンポジウム『「知」の力による我が国の創造的復興と未来に向けて—今を乗り越え、明日を目指して— (第1回)』を開催します。

最先端科学の研究と教育を担う日本の主要研究大学(RU11)が、今回の震災をどのように捉え、今、そしてこれから何をなすべきなのか、様々な視点から考察します。また、この考察をもとに、今後、国民さらには人類へ貢献するために、どのように先端科学を導き、活用していくべきかについて、議論を行います。

### 開催趣旨

最先端科学の研究と教育を担う日本の主要研究大学(RU11\*)が、今回の震災をどのように捉えたのか。今、そしてこれから何をなすべきか。自省も込めたさまざまな視点からの考察をもとに、先端科学を今後どのように導き、活用していくことが真に国民への、さらに広く人類への貢献となるのかを議論し、社会に発信する。

\*RU11とは、研究に重点を置き世界と戦う大学(Research University)による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアムである。11大学(北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学)で構成。

### 内 容

- 日 時： 平成23年6月11日(土) 10:00~14:10
- 場 所： ウェスティンホテル仙台 2F「グランドボールルーム」  
仙台市青葉区一番町1-9-1 (Tel. 022-722-1234)

### プログラム

- 開会あいさつ  
10:00~10:20 松本 紘(京都大学 総長)
- 来賓あいさつ  
10:20~10:35 鈴木 寛(文部科学副大臣)  
10:35~10:50 唐木英明(日本学術会議副会長)
- 被災大学からの報告 —東日本大震災、被災と復興への決意—  
10:50~11:20 井上 明久(東北大学 総長)  
11:20~11:40 山田 信博(筑波大学 学長)  
11:40~12:00 松本洋一郎(東京大学 理事・副学長)

—休憩 15分—

○ラウンドテーブルディスカッション

12:15～14:00 (105分)

コーディネーター 室山 哲也 (日本放送協会 解説委員)  
討論者 井上 明久 (東北大学 総長)  
山田 信博 (筑波大学 学長)  
伊賀 健一 (東京工業大学 学長)  
橋本 周司 (早稲田大学 副総長・常任理事)  
松本洋一郎 (東京大学 理事・副学長)  
松本 紘 (京都大学 総長)  
鈴木 寛 (文部科学副大臣)  
櫻井 充 (財務副大臣)  
小林 耕士 (株式会社デンソー 取締役副社長)  
中村 道治 (株式会社日立製作所 取締役)  
唐木 英明 (日本学術会議副会長)  
(RU11 研究担当理事・副学長)

※進行の要点

① 2～3のテーマに絞って、議論を展開

<テーマの例>

ア) 今回の震災を①研究・教育の担い手は、②産業界は、③政治家は、どう捉えたのか、特に科学への信頼と期待はどうなったのか

イ) 被災地の復興と日本の新生に向けた大学の役割はなにか

ウ) 大学は、具体的にどのような行動をはじめているのか、その際どう協力していくべきか (産官学を含めて)

② フロアとの意見交換

③ コーディネーターによるまとめ

○閉会のあいさつ

14:00～14:10 井上 明久 (東北大学 総長)

—閉会—

※本プレスリリースについては、文部科学省記者会、科学記者会にもリリースしています。

【本件のお問い合わせ先】

東北大学研究協力部研究協力課

電話：022-217-4840

Mail：kenkyo@bureau.tohoku.ac.jp

九州大学は2011年に100周年を迎えました

